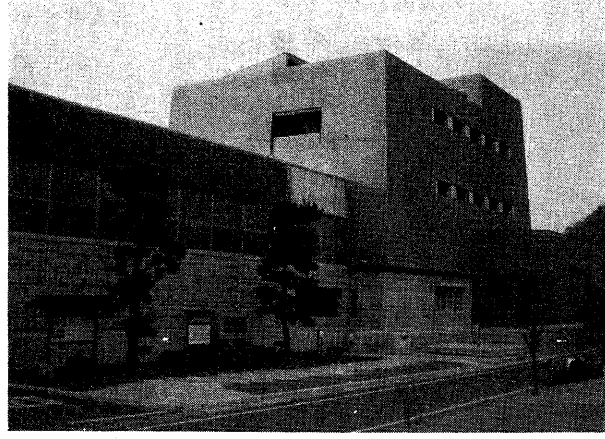


西江原
公民館だより



田中讃歌

作詞 片山正己
作曲 中島昭二

一、吉備の山なみ 北に見て
小田の流れは 程近き
山陽道に沿う色に
うぶ声あげし 田中の
香る伝記をひもとかん

二、 明治五年の水無月に
江原の里に誕生し
義士 精研の学び舎に
通いて学ぶ 八ヶ年
幼き胸に夢育つ

三、 日清戦争 そのなかば
故郷をあとに 大阪へ
求めし職は木彫の
中谷省古の門に入り
徒弟の道を踏み出しぬ

四、 選びし道はけわしくて
涙をぬぐう日もあれど
若き心に鞭をあて
昼夜分たず 技を練り
禅の修業も はげみたり

五、 修業の道は 果しなく
幸いなるか めぐりあう
岡倉天心 この人の
厚き知遇と感化うけ
技も磨きて 名もひろむ

六、 若き学徒の前に立ち
六十・七十は鼻たれ小僧
男ざかりは 百からと
命一途の意地の道

七、 教えきびしく きたえたり
かくれし美をも求めつつ
刻み続けて 二十年
精魂こめし 大作は
六代菊五の 鏡獅子
この作 天下に知られたり

八、 のみ一筋に 八十年
言行一致は実を結び
荣誉に浴す 田中の
胸に輝く 勲章は
不滅の光 放つなり

九、 されど 天命ままならず
惜しくも 巨匠田中は
百七才の長寿にて
名誉市民の錦をば
まといて 神に召されたり

十、 翁の残せし 名言は
石碑深く 刻まれて
永遠に不朽の道しるべ
いまやらねば いつできる
わしがやらねば たれがやる

**青少年問題を考える集い
盛會裡に終る**
教養部長 佐藤道夫

第二回西江原町青少年問題を考える
集いは、各自自治会、地区公民館のご尽力により多数ご参加くださいまして誠にありがとうございます。関係各位のご協力に衷心より厚くお礼を申し上げます。

このたびの集いは、現状をふまえて皆様のご意見を中心に親や大人の在り方で子ども達に及ぼしている面の検討に話題が集まりました。特に勉強部屋の子どもまかせ、子どもが親の金を持ち出し、小遣金の使い方、初発的非行(万引)などの遊び意識などの例でもわかるように、親の管理監督の不行きとどきをなくしていくと同時に、地域ぐるみの非行防止を願う雰囲気を高めていく努力を続けることよって、青少年の心を引きしめ健全育成の土台づくりをしていくことが肝要であります。

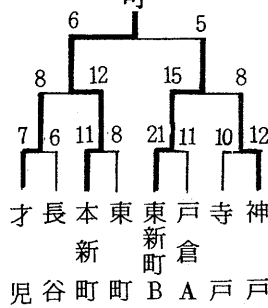
西江原地区は井原警察署管内で青少年の非行が比較的多いと聞きますが誠に遺憾であります。しかも加えて非行が低年齢へ、そして特定の子どもの非行でなく、一般家庭の児童生徒の中からも発生していく傾向にあることを合わせて考えますと、将来を担う青少年の健全育成のための諸問題に更に新たな認識をもち、一層のご協力を願ってやみません。

秋の行事

第四回西江原ソフトボール大会
○日時 昭和57・11・21(七時三十分)
○主催 西江原公民館
○場所 興議館グラウンド
(敗者トーナメント 西小グラウンド)

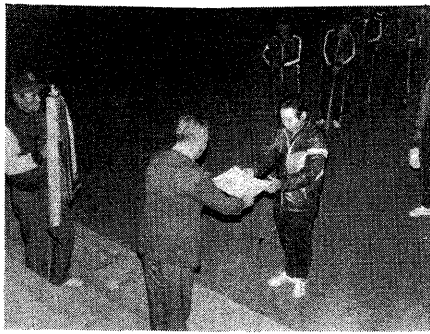
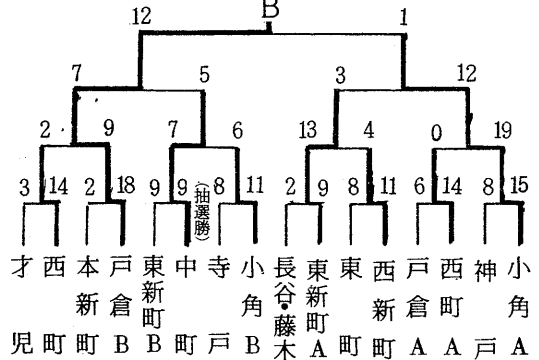
敗者トーナメント

(西江原小学校グラウンド) 優勝 本新町



(Aコート)

(Bコート)



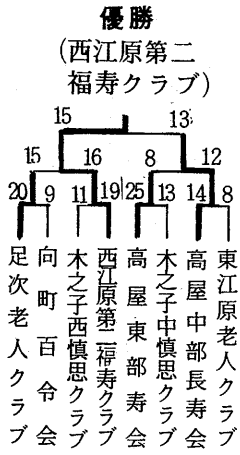
第一回井原市ゲートボール大会に優勝

- 期日 昭和五十七年十一月十二日(金)
- 場所 市民運動場 陸上競技場
- 優勝 西江原第二福寿クラブ
- チーム数 市内各町 二十四チーム
- 年令 六五才以上の男・女
- 一チーム 八人 監督 一名

選手(五名) 補員(二名) (女子二名)
A、B、C、D、ブロック(各六チーム)の中から勝ち抜いた2チームずつ、計八チームが左表のような成績で健闘しました。ほんとうによろこばしいことです。

西江原町二つのチームは七、八、九、十月 西江原小学校、神戸公園において、毎週2回13〜15時 技と心をみがき協力一致見事に輝やかしい栄冠を得たもので、願わくば、このすばらしい実績をいつまでも継続していただきませうと願っています。

ゲートボール競技のルールはまことに複雑で練習を重ねるほど味がでくるといわれています。



愛の献血について

西町青木 操

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。地域皆様方には、お健やかに輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、婦人会・愛育委員会共に、大変お世話になりました事厚く御礼申し上げます。特に、献血につきまして、地域あげての御協力大変有難うございました。

血液の需要は、医学のめざましい進歩により、年々増加の傾向にあります。血液は、人工的に作ることは出来ません。私達は、いつ事故や病気になるかもしれないという不時の輸血用に備えて、現在の社会では、どうしても預けなければならないと思います。献血は、人を助けるとともに、自分や自分の家族を、助けることにもなります。私達を守り、又地域を守る献血を、これからも、どうぞよろしくお願い致します。

献血でもせ 愛の灯

いのちの灯

十一月十日 実施成績 百十九名

お正月寄せ植え

小角地区

十二月二十四日 小角地区有志の方

が、森清志先生(43才)の指導のもとに本年度2回目の寄せ植え会がおこなわれた。会員は20〜25人で会費(材料費)三〇〇円融和親睦をはかり盆栽愛好の趣味の会としてなごやかにこなわれた。各自思い思いの植木鉢に、白梅、松、南天、ヤブコージ、縞竹、福寿草、春らんなどを 真土、山コケ、シダ、白砂、枯木、山石、をうまく利用して植えこみ 山、川、丘、島の感じを出し 更に鶴、亀、トウロウ、橋などを配置して風雅な情景をあらわしておられた。



文化教室の二こま

扇舞クラブ

寺戸 河合周子

私達のクラブは、昭和四十七年五月、池田千代香先生婦人会長時代に発足し

て十年がたちました。顔ぶれは当時より大分変わっていますが、人数はいつも十数名を保ち、月二回の練習日を決めて楽しくやっています。

現在は竹井初香先生の指導を受けています。部員の中には発足以来の者との日浅い者ですが、竹井先生を中心にみんなうまく助け合って、なごやかにやっております。

何年たっても扇子の使い方、足の運び方も満足にできない私達です。しかし好きな者ばかりで市の老人福祉センターの慰問は勿論、芳井・笠岡方面へも何回となく出向いて、お粗末な芸を披露いたしました。

竹井先生は市から二年連続舞踊ボランティア活動表彰を受けられ、私達のクラブも善行表彰をうけました。部員一同身にあまる光栄とよろこんでおります。

今後とも一層努力して技をみがき、健康で明るく充実したクラブをつくり、



時間の許すかぎり進んでボランティア活動に参加し、一人でも多くの方に喜んでいただけるよう頑張りたいと念じております。

詩吟クラブ

中町 谷井弘昌

詩吟クラブが発足したのは昭和五二年四月で会員十二名ぐらいで、毎月第一、二、三木曜 午後七時三〇分から九時三〇分まで練習をしています。

男子、女子 新、旧会員 吟詠の能力等いろいろ問題はありますが、杉原徳泉先生を中心になごやかに練習にはげんだり、話し合いなどによる心のふれ合いにより、上手、下手を乗り越えて自分の趣味として楽しいひとときを過しています。独吟、一斉合吟をおりませ

て練習しますが、自分の声の高低、大小、の音程やふしむわしは勿論、一言一声の中にも诗情（詩の心）をあらわさねばならないので、むずかしいの



ですが、杉原先生のほめてくださるやさしい指導のもとに吟詠の録音を持ち

帰り練習をしています。つぎの練習日が待ち遠しいのです。



の参観者で終日にぎわった。

作品内容は書画、写真、盆栽、神楽の面、短歌、俳句、数々の手芸品、詩歌、著書、木彫、生花、刺製、焼物等々……。正面には千支にちなんだ賀山の奥深くで獅をされた田辺さんの大きな猪の頭が訪れた人を先ずビックリさせ、また先代が書き残された書画、小角の古い歴史の著書、書き初めで腕をふるった墨の香もにおう小学生の作品まで内容も豊富に整然と展示されていた。折から琴に堪能な笠原さんの演奏がテープから流れて六段の調べと共に観る人の心を和ませながらじつくりと作品を鑑賞できた。

小角公民館の 作品展示会

新しい癸亥の新春を飾って小角公民館で一月四〜七日まで区民の皆様

の作品を展示した初の会が盛大に開かれた。小角百三十戸の家のお年寄から小学生、幼児までの作品三百点が公民館をギッシリとうずめてお正月明けの休みと併せて、区民はもとより町内の有志の方をはじめ市内、市外の人々まで沢山

公民館長の片山先生を中心にして、自治会長、老人クラブ会長、婦人会、少年団の人々のご熱意の集りをじかに感じながら有意義なひと時をもてた事に感謝する。

歴史の窓



摩利支天大王

この宮は那須与一一族の築城による才児の小管城の出さき機関として軍事的な塔である。本尊摩利子天 不動明王 昆沙門天を合わせた仏様で、鳥居があり外観は神社のようであるが、仏様としてもとと印度民間に信仰された神で、仏教に害をするものを守護する仏様でお経をおがむのである。護身、得財、勝利を祈る武士の枕本尊で、那須与一にとっては守護仏であった。

またこの附近に、大坊という地名と共に大きな寺屋敷跡が残っている。小さい寺がたくさんあったものとうかがえる。

宗教上の管理は医王院の住職(別当)がするようになっている。

護摩祈禱は毎年一回旧歴十一月二十三日(現在一月三日)におこなわれ、あわせて広場で餅まき(約五斗六斗)をおこなっている。

賀山地区全戸が当番をきめて餅まきの世話をしている。

現在の建物は昭和四四年に改築されたもので、そのとき鉄骨による高く大きな餅まき台がつくられ、毎年約五〇〇名の老若男女たちが楽しく、勇ましく餅ひろいをしている。本年は天候に恵まれ町内、市内は勿論、市外からもたくさん集まり、数回の餅まきに氣勢をあげ、ころんだり、体当りしてほんとうに盛会な餅まきであった。

予告と案内

昭和57年度第6回西江原文化祭

わがふるさとの文化祭 “ゆとりと、ふれあいのくらしを求めて”

本年の文化祭は左記によっておこなわれますので町民のみなさまご準備ください。細かいことについては各部署において運営されます。

●期日 二月二十六日(土)二十七日(日)

○美術工芸の部 26日 13時~16時

○芸能の部 27日 10時~16時

○芸能の部 27日 10時~16時

●会場

○西江原公民館(美術工芸品展示)

書道、彫刻、水墨画、油絵、編物

染物、硬筆、盆栽、日本画、俳句

その他

○西江原小学校体育館

生花 児童作品展

○西江原小学校体育館

芸能発表

詩吟、コーラス、民謡、民踊

茶道吟(茶席コーナー特設)

●美術工芸品は町内一般の方々から出品をお願いする。

●芸能の部は公民館(婦人会)部落公民館のクラブ発表とする。

西江原町内有志の方多数ご出品をお願いするとともに、町民各位の多数ご参観をお待ちいたします。

●当日バザーと植木市が開かれますのでご利用ください。

第三回西江原町親睦

バレーボール大会(部対抗)

●とき 二月二十日(日)

●ところ 西江原小学校体育館

俳句

西町 鳴谷 水聲(省二)

梅ぬくし仔牛素直に歩きゆく

冬山ののめりて道は大曲り

戸倉 佐藤多発子

今日のこと炬燵で蜜柑むぎながら

春寒に身をいといつつ拝みけり

中町 原田はるを

弔電を打つむなしきの事務始

寺戸 定光たまえ

元朝として庭滝の落つる音

戸倉 宗高勝恵

網棚の破魔矢の鈴の鳴り通し

戸倉 青木明美

娘の肩を借りて登るや初詣

東町 森山啓子

足袋白く稽古始めのお茶席に

活字洩れのお詫び

十七号 短歌 西新町 金島夏男

鷺羽山展望台にしばし佇ち……

「しばしを挿入してお読み下さい」